

2050

美濃加茂市

新庁舎整備
基本計画

かわらばん vol.3

西暦2050年頃の市民生活や行政サービスを予測しつつ、未来のまちづくりにとってふさわしい新庁舎整備を考えていきます。

未来のまちづくり委員会 中間答申

新庁舎
整備地「美濃太田駅周辺」を選定！

美濃加茂市未来のまちづくり委員会（会長：海道清信名城大学教授）は、2018年8月2日から計5回の委員会での審議を経て、中間答申をとりまとめました。

委員会は、新庁舎の整備地について、4つの候補地から「美濃太田駅周辺」を選定し、2019年2月12日、中間答申を市長へ手渡しました。



伊藤市長へ中間答申を手渡す海道会長（中央）と渡邊副会長（左）

中間答申のポイント

評価指標

A 立地適正化計画(案)との関係	
基本構想を基にした指標	安全性 B 防災面において安心であるか
	経済性 C 土地取得以外の費用が抑えられているか D 駐車場を含めて必要な面積が確保できるか
市民の にぎわい、 利便性	E 利便性が高く、人の流れができ、にぎわいが創出できるか
	F 誰もが立ち寄りやすい場所か
地域資源	G 地域資源(歴史・伝統・自然環境を含む)が活かせるか



新庁舎候補地絞り込みの3つの視点

- (1) 評価指標による比較
- (2) 経済性と実現性等による検討
- (3) 美濃太田駅周辺における庁舎の床面積確保及び整備費用の検討

上記の検討を経て、美濃加茂市未来のまちづくり委員会は、新庁舎の整備地として「美濃太田駅周辺」を選定しました。

今後の予定

- 2019年4月以降、未来のまちづくり委員会は、新庁舎の整備手法、規模、機能等について議論していきます。
- 委員会は2019年10月頃に、新庁舎整備基本計画について最終答申をまとめて市長へ手渡します。
- これを受けて市は、2020年3月までにパブリックコメント等を経て、新庁舎整備基本計画を策定する予定です。

最新情報はこちら

<http://www.city.minokamo.gifu.jp/2050>
